

羽ばたけ!羽島っ子 11月号

いちき串木野市立羽島小学校
 公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse-blog.jp/hashimasyo>

やさしい気持ち スイッチオン!

校長 西村 喜一

「いつも〇〇くんは大きな声であいさつをしています。ぼくも見習いたいです。」
 「〇〇さんは、私が一人にいるときに、よく声をかけてくれます。とてもうれしいです。」
 「〇〇くんのよいところは、何にでも熱中することです。ぼくもいろいろなことに熱中したいです。」
 「わたしが係の仕事をおぼれていた時に、〇〇さんが声をかけてくれました。〇〇さんありがとう。」
 「〇〇さんは、海の子マラソンの時、いつも速い人たちについていっています。すごいです。」
 「いつもたくさん本を読んでいる〇〇さんはすごいと思います。私もたくさん読みたいです。」
 「〇〇くんは、いつも給食を残さずどんどん食べています。いいなあと思います。」

毎年12月10日は世界人権デーで、12月は人権月間となっています。本校でも、12月に人権旬間を設定しています。そこで、この機会に、少しでも意識を高めてほしいと思い、11月の全校朝会で人権の話をしました。人権という言葉の意味が少し難しいかなと思い「人権とは、一人一人が、毎日明るく楽しく元気に生活することができる権利です。」と説明しました。そこで、『やさしい気持ち スイッチオン!』という合言葉をもとに、いくつかの視点を挙げて、人権を守る気持ちを高めるように伝えました。「チクチク言葉ではなく、ほかほか言葉を使おう」「困っている仲間を助けてあげよう」「相手(みんな)の気持ちを考えよう」「仲間と一緒に学び合おう」等です。

最後には、「仲間のよいところを認め合おう」と呼びかけ、『よいこと見つけ』という活動を提案しました。これは、仲間のよいところを見つけたら、カードに書いてポストに入れるという活動です。そして、「書いてくれた内容は、12月の全校朝会で紹介します。」と話しました。すると、その日のうちから、たくさんのおよいことがポストに投函されました。最初に紹介したものが、その一部です。

思った以上に、たくさん投函してくれるようになったので、そのままではもったいないと思い、カードを貼ってみんなに紹介することにしました。掲示板のタイトルは『ほかほかハートボード』です。また、『よいこと見つけコーナー』も設置しました。みんな毎日のように、たくさんのおよいことを見つけています。休み時間の度に書いて、せっせと投函してくれる子もいます。ちょっと呼びかけただけなのに、どんどん取り組むことができる姿に、大変うれしく思いました。ちなみに、全校朝会から2週間余りが過ぎましたが、11月26日現在よいこと見つけカードは、121枚になりました。

他にも、本校では、全校児童・職員で、人権標語を作成しています。

- 「ありがとう 言うとうれしくなるよ」 (1年 〇〇 〇〇)
- 「ピカピカ朝を みんなのために 続けよう」 (3年 〇〇 〇〇)
- 「君の笑顔で みんなの心に 花が咲く」 (5年 〇〇 〇〇)

どれもとても素敵な標語です。また、12月の授業参観では、全学年道徳の授業を行います。たくさんのお参観をお待ちしております。

さて、先ほどの『よいこと見つけ』ですが、「書いてくれた内容を紹介します。」と言ったので、子供たちはきっと、カードに書かれているよいことを紹介するのだろうと思っているようで、「誰のよいことを紹介してくれるのですか。」「わたしが書いたこのことを紹介してください。」などと言いながら、投函しています。でも実は、書かれているよいことを紹介するだけではなく、本当は、別のことを特に紹介したいと思っています。それは、「よいことをたくさん見つけた子」のことです。

相田みつをさんの作品に、こんな言葉があります。

「美しいものを 美しいと思える あなたの心が 美しい」

とても素敵な言葉です。この『よいこと見つけ』の本当の目的は、「仲間の良さを良さとして認め、仲間のことを心から称賛できる心高め合うこと」なのです。だから、たくさん見つけた子を紹介し、称賛しようと思っています。このことは、まだ子供たちには言っていない。これを読んだ皆さん、子供たちには内緒にしてくださいね。

さあ、誰が一番、仲間の良さに気づき、それを認め、素直に感動することができるのでしょうか。結果は、12月の全校朝会で発表しますので、ぜひ子供たちに聞いてみてください。



地域が育む「かごしまの教育」 県民週間

11月1日~7日に行われた県民週間には、延べ人数で70名程度の参観をいただきました。このような状況の中参観していただきありがとうございました。いつも子供たちを温かく見守り、ご支援いただき感謝いたします。



学習発表会では、各学年が日頃学習していることをしっかりと発表することができました。当日は保護者のみの参観となりましたが、多くの方に子供たちの発表を見ていただくことができました。11月4日には「民生児童委員・学校運営協議会委員・れいめい羽島協議会会長と語る会」を行いました。その中で、出席者と学校職員で話し合いを行いました。短い時間ではありましたが、地域に関する学習や保育園との連携等について真剣に話し合っていたいただき、とても有意義な時間となりました。

読書月間の取組 読書への関心を高めることを目的に「読書月間」を設定し、様々な取組を行いました。職員による読み聞かせや読書祭り、読書郵便、親子読書などに取り組みました。地域の読み聞かせボランティアによる読み聞かせやリーディングパーティとの交流読書も行われ、本にたくさん親しむ1か月となりました。



リーディングパーティ(交流読書)

読み聞かせボランティア



職員読み聞かせ

親子読書会の取組



読書まつり(花さき山読み聞かせ)

読書郵便

生活科フェスティバル

11月26日は生活科フェスティバルがありました。1・2年生が羽島保育園の園児17名を招き、自分たちで準備をしたお店屋さんで楽しんでもらいました。保育園園児に遊び方を教えたり、買い物をしてもらったりとお兄さん、お姉さんぶりを発揮しながら楽しんでいました。



12月の行事

- 1日(火) 持久走大会
- 8日(火) 授業参観・学級PTA
- 24日(木) 終業式

